

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.18

## 東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日  
例会日 毎週月曜日 12:30~  
例会場所 シェラトン都ホテル大阪 3F  
事務局 大阪市天王寺区石ヶ辻町2-8  
〒543-0031 クレアツィオーネ上本町 704号  
TEL : 06-6772-2320  
FAX : 06-6772-2327  
E-mail : hcrc@at.wakwak.com



会長 小川 高弘  
会長ノミニー 宮田 照男  
副会長 金子 勝信  
幹事 中村 徹  
会報委員長 瀧田 浩彦

## Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016~2017 年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

第 2031 回例会 平成 28 年 11 月 28 日 (月曜日) 第 18 号

**本日の例会** 11月28日 (月) 第3例会

◎ソング 「奉仕の理想」  
◎卓話 『同一労働 同一賃金について』  
◎ゲストスピーカー 飯田労務事務所  
副所長 飯田 雅也  
担当: 飯田 政信会員

◎本日の献立 軽食ワンプレート

**次回の例会** 12月12日 (月) 第2例会

### クリスマス家族会

シェラトン都ホテル 20階「エメラルドの間」

移動例会 17:30~ クリスマス会 18:00~

ゲスト: フルート奏者 ソン・ソルナム氏

**前回の例会** 11月28日 (月) 第4例会

◎ビジター 大和高田 RC 鈴木 勝士様  
大阪東 RC 佐々木 恒一様

**会長挨拶** 会長 小川 高弘

皆様、こんにちは。

本日は私事で大変恐縮ですが、先日の土曜日に友達5組とゴルフ倶楽部四条畷でゴルフコンペを行いました。そこでロータリークラブのIM4組の方々で、東大阪東ロータリークラブの会員の方4名そして元会員の方2名・八尾中央ロータリークラブの方1名とお会いし挨拶をさせて頂きました。その際に友達が「小川さん顔が広いね」と驚いていました。

これも宮田会長エレクトのご紹介によりロータリークラブに入会させて頂いたこと、そして色々なロータリー行事に会員の皆様と参加してきた事で色々な方との人脈

が増えました。

今思えば本当に東大阪中央ロータリークラブに入会させて頂いて良かったと感謝致しております。これからも東大阪中央ロータリークラブの名に恥じないよう精進致したいと思っています。有難う御座いました。

### 幹事報告

幹事 中村 徹

- 次週、12月5日(月)例会終了後に第6回定例理事役員会を5階「サルビアの間」にて開催致します。理事役員の皆様には宜しくお願い致します。
- クリスマス家族会のお返事がまだの方は、是非ご参加下さいます様宜しくお願い致します。
- 今月より、お願いしておりますロータリー財団特別寄付ですが、今月のロータリーレートは1ドル102円ですが、12月は106円になります。明日までにお振込みいただきますと今月のレートでの扱いになります。

### 出席報告

金子 勝信 委員

本日の会員数	24名
本日の出席者数	16名
本日の出席規定適用免除会員	10名
本日の出席率	80・00%
11月7日の修正出席率	78・94%

### 二コニコ箱報告

SAA 岩橋 竜介

中村幹事 先月の合同例会、お疲れ様でした。今年の大きな行事はクリスマス家族会のみとなりました。多くの皆様のご参加宜しくお願ひいた

します。

瀧田会員 今日の私の卓話は岩橋氏を通じて、JFHI の  
小小百合さんに喋ってもらいます。  
御静聴の程よろしく!!

岩橋会員 瀧田会員、卓話の機会を与えて下さってあり  
がとうございます。小西さん 12月 1日再出  
発のためにお祈りしています。

## 卓 話

### 担当:瀧田 浩彦

今日 11月 28 日は私の卓話担当の日でありますます。私の卓話の最初は 1977 年（昭和 52 年）9月入会の私の 10 月にイニシャルスピーチに始まります。以来 39 年毎年卓話には取組んで参りました。

偶々私が地区の W C S (世界社会奉仕) に 12 年間も関係し、その中で F H I 創始者の堀内 顯先生と昵懇になり 2010 年（平成 22 年）7 月？ J F H I が一般財団法人として認められた式典にも招かれました。又有江会員が 1999 年(平成 11 年)から 12 年間当クラブに会員として居られ、私と共に地区 W C S にも所属されて居ました。そんな事から、H18 年（2006 年）11 月清家氏にお願して F H I の活動について卓話をして頂き、H22 年 10 月にも清家氏に、次いで平成 23 年（2011 年）3 月の太平洋沖地震の津波では、2 月に当クラブに入会して居られた岩橋氏の先導で現地を視察し、鹿港ロータリークラブの見舞金 311 万円と当クラブ 300 万年を J F H I に託しました。

又、その間フィリピンの（平成 19 年 2 月 2007 年） Debbie, S. Toribio の卓話や森 祐理さんらの（2015 年 4 月 6 日平成 27 年）卓話もして頂きました。

今回は“こんな所に日本人”が朝日放送で放送されて居り、時々私は見てますが、昨年 11 月 27 日放送されたのは小西さんが特集されたそうです。

まあゆっくりと聞いて下さい。



(2011 年に小西さんがチャヤ・ラクヨに駐在していた時  
に岩橋会員が訪問した様子)

日本国際飢餓対策機構 (JIFH)  
ボリビア多民族国駐在スタッフ  
世界里親会アドバイザー 小西小百合様

### 『こんな所に日本人が。ボリビアの山奥で』

私たち日本国際飢餓対策機構 (JIFH) がボリビアで活動している理由は、ボリビアが南米大陸で最も貧しい国だからです。5 歳未満の死亡数は 1,000 人中 39 人で（ちなみにペルーは 17 人、日本では 3 人：ユニセフ 2015 年調べ）、その中でも私たちの現在の支援地、標高 3000 ~4000m のアンデスの高地アサワニ地域では、5 歳未満の死亡数が 1,000 人中 150 人（死因の第 1 位は慢性栄養不良）と大変高いのです

（2014 年 FH ボリビアベースライン調べ）。

私は現在子どもの教育支援（世界里親会）と、地域の自立開発支援を行っています。12 年間活動した前支援地域のチャヤは、標高 4300m で富士山よりも高い所にあり、そこの元里子・元奨学生たちが高校卒業後専門学校や大学で勉強を続け、様々な資格を取得して現在社会で活躍しています。その一人がエドワルド青年です。彼は小学校 4 年生までしか学校に行っていませんでしたが、2000 年に FH のスタッフから“将来の夢（ビジョン）”について学んだことにより彼の人生は変わり、復学して農業技術者になり、現在 FH スタッフとして働いています。一人の子どもが、また青年が変わる時、その地域に希望が生まれるのです！

しかし今尚薬草以外の薬や医者を信用せず呪術師に解決を求める親の間違った価値観の為、重い病気でも治療を受けられずに亡くなる子ども達がいるなど、悲しい出来事が起こっています。私達は人々がこの間違った価値観から解放される為にさらに関わり、このような悲しい出来事が繰り返されないように、そして子ども達が一切の悪しきものから守られて健やかに育っていくことができるよう、働くなければならないと痛感しています。

「それで、何事でも、自分にもらいたいことは、他の人にもそのようにしなさい」これは聖書の言葉ですが、まず私自身がこれを実践する者でありたいと思っています。「わたしから始める、世界が変わる！」継続支援によって子どもと地域が変わるのであります。皆様の愛のご支援をよろしくお願い致します。